

系統 断熱可とう形合成樹脂エマルション系



塗装条件

塗装方法	多孔質ローラー、万能ガン
希釈率	3~5% (清水)
標準塗布量 (kg/m ² /回)	0.5~0.9 kg/m ² /回

注)上記の数値は塗装作業に必要な使用量の標準数値です。

標準塗布量は、個々の条件によって異なります。

塗装間隔

項目	温度	
	標準塗布間隔	最短
		23°C
	最長	4時間

塗料性状

項目	内容
1 荷姿	12kg
2 混合比	1液
3 色	白色
4 つや	艶消し
5 臭い	少なめ
6 仕上がり感	ゆず肌状
7 比重 / 密度	0.99 (g/cm ³ /23°C)
8 溶剤比重	—
9 加熱残分(固形分)	67 (%)
10 粘度	15,000 (mPa·s/23°C)
11 効物表示	—
12 労安法上の表示有害物	酸化チタン(IV)
13 使用有機溶剤種別	—
14 消防法による危険物区分	適用外
15 硬化剤の成分による区分	—

注)上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

特徴

- ①アドグリーンコートとの組み合わせで施工することにより、外気からの影響により室温が上昇することを和らげます。
- ②高い弾性力を有する為、下地のひび割れに追従します。
- ③転体の温度変化を和らげます。

主な適用素材

コンクリート、モルタル、ALC板、スレート板、各種サイディングボードブロック等

適用旧塗膜

合成樹脂エマルションペイント、アクリル樹脂塗料、ポリウレタン樹脂塗料、塩化ビニル樹脂塗料、吹付タイルリシン(セメントリシンは除く)、スタッコ(セメントスタッコ、弾性スタッコは除く)

注)既存塗膜が2液溶剤系フッ素樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。

使用上の注意事項

- 1)ALCパネル・多孔質下地・粗面、その他下地に問題がある場合には、セメント系下地調整塗材等で下地処理を行ってください。
- 2)下地のひび割れ、破損、浮きなどは適切な処理をしてください。旧塗膜の浮き・剥がれ・チヨーキング層等は、除去してから施工してください。
- 3)押出成形セメント板・GRC板などには、下地材としてマルチプライマーEPを使用してください。
- 4)下地がコンクリート、モルタルの場合は、素地の乾燥を十分に行い、含水率10%以下、pH10以下で施工してください。
- 5)外部の下地で巣穴・段差などがある場合、セメント系下地調整塗材等で処理してください。
- 6)吸い込みが大きい下地、部分的に下地調整を行った面が、他の面と比べて著しい吸い込み差を生じる下地、ならびに下地がケイ酸カルシウム板、スレート板等の場合には、適切な下塗り材の選択が必要です。
- 7)施工場所の気温が5°C以下、湿度が85%以上または結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々欠陥発生のリスクがありますので、施工を避けてください。
- 8)降雨・結露・降雪の恐れ、または強風の恐れがある場合は、施工を避けてください。
- 9)直射日光化で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 10)作業を行う場合には、適切な保護マスク、保護手袋、保護メガネ、保護衣を着用してください。
- 11)その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはMSDS(化学物質等安全データシート)を参照してください。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますので、予めご了承ください。